

# 爽・創・荘

学校だより

令和5年11月1日

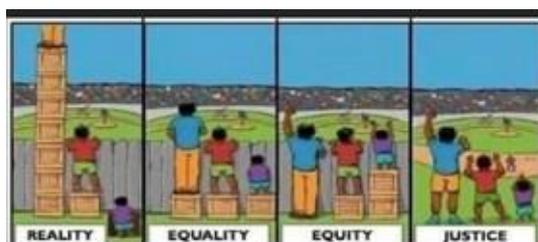
加古川市立両荘中学校

爽やかであること、創造すること、成長することを願って、「爽（そう）・創（そう）・荘（そう）」と名付けました

## 個人にあったサポートの大切さを学ぶ

「合理的配慮」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。

この言葉は、平成25年に施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（障害者差別解消法）の中で使われていて、この法律の根本的な考えのひとつなのです。この法律の説明



出典 [madewithangus.com](http://madewithangus.com)

でよく使われる絵が右の4枚の絵です。一緒に考えて見ましょう。

4枚の絵の違いはなんですか。台の数です。野球を見に来た3人のメンバーは、背の高さが違います。野球場のフェンスの高さは一定です。台がなかったら、赤い服の子どもと紫の服の子どもは、野球が観戦できません。

一番左の絵のような台の置き方だとどうでしょう。青い服の子どもはより見やすくなり、赤い服の子どもも見えるようになりますが、一番右の紫の服の子どもは見えません。見え方に大きな格差が生まれている状態です。この状態がいい状態か否かは、明らかです。

では、左から2番目の絵ではどうでしょう。台は一つずつ。誰もが同じサポートを受けています。しかし、紫の服の子どもは、観戦できません。英語で「EQUALITY」と書いています。「平等」という意味です。「みんな平等に・・・」とよくいいますが、平等なサポートでも時にはこのような格差は解消できません。

続いて、右から2番目の絵に注目します。背の高さによって、台の数を変えています。結果として、3人の子どもたちは、野球を見ることができています。野球観戦としては、誰もが納得できる状態です。英語では「EQUITY」と書いてあります。日本語の「公正」とか「公平」に当たります。それぞれの個人にあった必要なサポートを受けることで、「公平」を生みます。

一番右の絵は、壁のない状態での観戦です。遮るものがなければ、野球観戦は3人ともできるということです。

「合理的配慮」とは、簡単にいうと「障がいのある人の人権を守ることを目的とする必要かつ適切な配慮」のことです。場合によっては、「平等」よりも「公平」「公正」が優先されなければならないということです。野球観戦の例の場合、ひと昔前なら、「あの子、台2つでするい・・・」などと言われていたかもしれませんが。今の考え方では、決してずるくはないのです。人それぞれに台の数は変わっていいのです。

未来をつくる皆さんには、忘れないでほしい考えです。

## トピック 両荘中学校 から 両荘みらい学園へ

今、両荘中学校の閉校を記念する冊子を作成中です。今は 76 年目ですが、70 周年でパンフレットが発行されています。その後の 6 年間の学校生活を中心にまとめています。

## 10月のホームページ「両荘エトセトラ」より

先生たちも勉強しています その2 ～自己の危機回避能力UPをめざす防災学習～10月5日

今日は、2年生の防災教育をICTを使い行いました。

場面ごとにどういふふうに分の命を守るかを考える授業です。場面を大型提示装置で示した上で、予想される危険をPC上のJamboardに記入していきます。同じ班員の意見は瞬時に画面上で共有されます。生徒たちはそれをみながら再思考していきます。その後、地震のVTRを見た上で、予想された危険をどう回避するのかについて、同じくJamboardに記入して、深めていきます。「棚から本が落ちる」といった予想に対するの回避方法は「離れる」といった意見が出ていました。



続いて、「登下校中では」どうするかについて、同じように考えていきました。「塀が倒れてくる」という予想に対するの回避方法は「まずは、カバンで頭を守る」「塀から離れる」といった回避方法を導き出していました。さらに「自宅で起こったら」の場面も考えました。

生徒たちに必要な力は、危険が迫ったときの「危機回避能力」です。中学生ですからまだまだ保護される年代ではあると思いますが、災害は一人のときに起こるかもしれません。そうい

う意味でも自分の命を守るための「危機回避能力」は必要です。場面で瞬時に考えることができるようにするためには今回の授業のようなシミュレーションで自分で考えた経験が生きてくるのだと思います。

次回は、普段の備えをどうするかについて考えていきます。

1班		
教室		
予想される危険	回避方法	
窓ガラスが割れる	棚が倒れる	棚から本が落ちる
電球が落ちてくる	ドアが開かなくなる	歩く場所がなくなる
テレビ倒れる	天井が濡れる	
時計が落ちる		
	ドアを開ける	窓から離れたところに移動する
	机の下に隠れる	破片を避ける
	カーテンを閉める	教室の真ん中に移動する
		カバンで頭を守る

《ある班の書き込み》